

# 第 3 回近畿社会保障学校

～子どもの貧困に向き合い地域でできることを考えよう～

こどもの貧困をめぐるっては 2013 年6月「子どもの貧困対策推進法」が成立しました。2014 年 8 月には「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定されました。大綱では、「子どもの将来が生まれ育った環境に左右されず、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る対策は極めて重要だ」として、教育や生活の支援などに取り組むとしており、この大綱を受け、各都道府県は貧困対策計画をまとめる努力義務が課せられますが、大阪ではいまだこれといった動きは見られません。各市町村では、横断的な担当課さえ設置されていないというのが現状です。

子どもの6人に1人が貧困という現状の中、私たち社保協はいま地域で何ができるのでしょうか。今年の近畿者社会保障学校では、「子どもの貧困」について正しく学び、そして地域で何ができるのかを考えあおうと企画しました。ぜひご参加ください。

★日時 2015年5月31日(日)10時30分～16時

★会場 大阪民医連(場所・行き方は地図参照のこと)

★企画 テーマ「子どもの貧困に向き合い地域で出来ることを考えよう」

□記念講演①(10時35分～12時05分)

「医療と子どもの貧困」武内一さん(佛教大学教授・小児科医師)

□記念講演②(13時～14時)

「シングルマザーと子どもたちの現状といま必要な支援について」

徳丸ゆき子さん(大阪子どもの貧困アクショングループCPAO代表)

□指定報告(14時～)

①学習支援 しが健康友の会 会長 坂下久喜さん

②子ども食堂 羽曳野チルドレンサポート 仲野浩司郎さん

③京都府の子供の貧困大綱具体化の取り組み

□ワークショップ「地域でできることを考えよう」

★参加費・資料代(弁当代込) 2000 円

★規模 150 人

★主催 社保協近畿ブロック懇談会

★申込 資料印刷の関係上必ず事前に fax またはメールで申し込んでください。

★問合せ・申込先 大阪社会保障推進協議会

Tel 06-6354-8662 fax 06-6357-0846

メール) osakasha@poppy.ocn.ne.jp



### 第3回近畿社会保障学校 申込書

ふりがな

- 氏名
- 団体・職場名
- 連絡先 Tel

(大阪・兵庫・京都・奈良・和歌山・滋賀)

fax